

## 今後の国有林野の管理経営のあり方について（構成案）

### I はじめに

- 1 検討の背景
- 2 審議の経過
- 3 政府への要望

### II 国有林野事業のこれまでの取組（歴史と現状）

### III 今後の国有林の管理経営のあり方について

- 1 基本的考え方
  - (1) 今後の国有林に求められる役割（森林・林業政策上の位置付け）
  - (2) 今後の国有林野の管理経営についての基本的な方向
- 2 公益重視の管理経営のより一層の推進
  - (1) 地域関係者や民有林との連携を一層深めた管理経営等の推進
    - ① 計画制度のあり方
      - (i) 計画策定手続きの改善
      - (ii) 重視すべき機能に応じた森林の区分
    - ② 民有林と国有林の連携による生物多様性の保全方策の推進
    - ③ 地域と一体となった鳥獣被害対策の推進
  - (2) 安全・安心な国土基盤づくり
  - (3) 国有林の資源管理の高度化
  - (4) 森林の面的な管理
- 3 森林・林業の再生への貢献
  - (1) 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及
  - (2) 林業事業体の育成
  - (3) 国産材の新規需要開拓と安定供給体制の構築
    - ① 国産材の新規需要開拓
    - ② 地域の需給状況に応じた国有林材の供給調整
  - (4) 施業集約化等への貢献
    - ① 森林共同施業団地の設定
    - ② 森林・林業技術者の育成
    - ③ 林業の低コスト化等に向けた技術開発
    - ④ 森林・林業の再生に向けた施策立案への貢献
- 4 山村地域の振興、震災復旧・復興への貢献
- 5 今後の国有林野への期待に応えるための組織・人材のあり方

### IV 今後の国有林野事業の経理区分のあり方について

- 1 事業・組織の一般会計化
- 2 債務返済に係る経理のあり方
- 3 今後の収穫量および債務返済の見通し

### V 必要な法的措置について

### VI 終わりに ～新たな国有林野の管理経営の姿～